

9年度当初予算の概要

いるという証拠であり、市民の負担増とは全く関係のないことです。どうぞご安心ください。

歳入

自主財源は40・2%

それでは、市が調達するお金の内容を見てみましょう。

市税

歳入全体に占める割合が一番高いのが市税。市民税や固定資産税、軽自動車税など、皆さんが市に対して納めている税金がこれにあたります。金額は約七十三億円で、前年度に比べて六・九%の伸びが見込まれています。

地方交付税

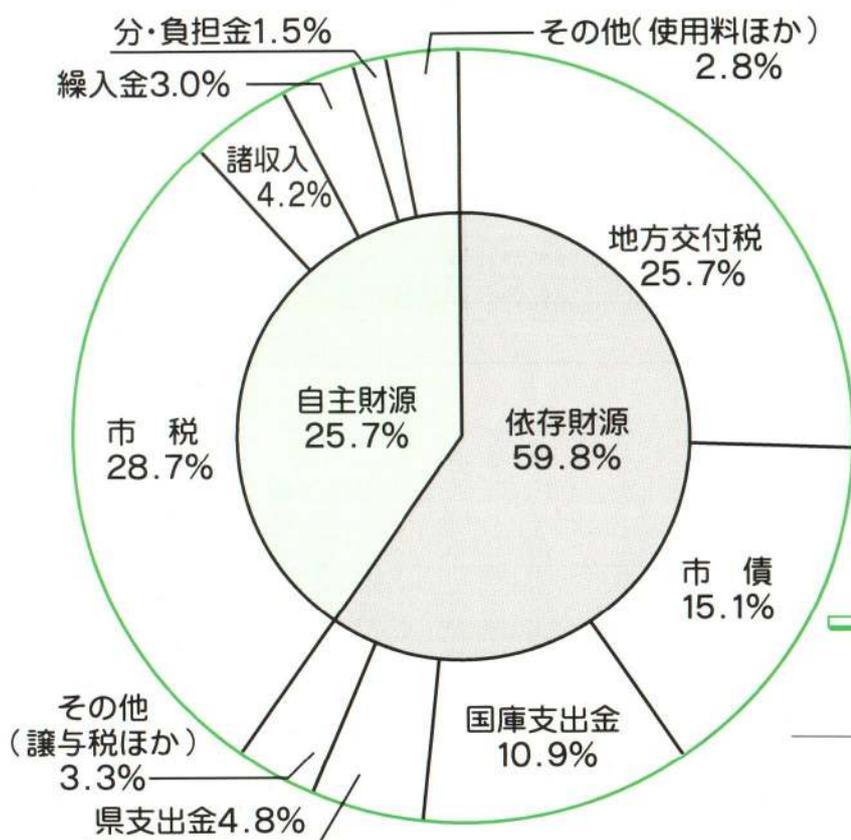
次に多いのが地方交付税で、金額は約六十五億円。前年度に比べて三%の伸びとなっています。

市債

財源の不足を補うために借り入れを行う市債は、前年度対比八・五%増の約三十八億円。おもに、老人福祉総合エリアの整備や大館樹海ドームの周辺整備などを行うことを目的としたものです。

国庫・県支出金

国庫支出金は、前年度対比で二八・三%増の約二十八億円。県支出金は、二三・三%減の約十二億円を見込んでいます。



一般会計当初予算 歳入の性質別内訳

市税や諸収入、繰入金など、市の内部的なやりくりで工面するお金を称して**自主財源**といえます。平成九年度の歳入全体に占める自主財源の割合は四〇・二%です。これに対して、地方交付税や市債、国庫・県支出金など、一定の目的のために外から補助を受けたり借り入れしたりして調達するお金を、**依存財源**といえます。歳入は、大きく分けて自主財源とこの依存財源の二種類で構成されており、今年度の歳入全体に占める依存財源の割合は五九・八%となっています。

歳出

教育費に大きな伸び

次に、歳出の内容を見てみましょう。歳入で工面したお金は、どのように使われるのでしょうか。今年度の歳出に占める割合が最も大きいのは**民生費**。おもに福祉関連分野(老人福祉総合エリアの整備事業など)に支出されるお金であり、歳出全体の二五・一%となっています。

次いで**教育費**。歳出全体の一五%を占めています。おもに、上川沿小学校の移転改築・屋内体育